

事業所名

子どもみらいサポート あくしす鈴蘭台

支援プログラム

作成日

2026 年

3 月

25 日

法人（事業所）理念		『すべての子どもたちに笑顔と輝ける未来を』			
支援方針		集団療育を中心としたプログラムの提供を日々行っています。発達に必要な5領域「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」を集団プログラムに取り入れ、その日のねらいを達成できるよう支援を行っています。子どもたちにとっては遊びの一環で、「楽しい!」と感じられるよう内容を工夫しながらも、支援員がねらいを持ってアプローチをかけ、子どもたちの体験や成長へとつなげていきます。人との関わりや繋がりの中だからこそ学べることを、集団療育プログラムを通して体験していただくことを目指しています。他者との関わり・他者と関わる喜び・集団行動・楽しさを経験し、学校の集団生活では補えない部分をより丁寧にアプローチしていきます。			
サービス提供時間		平日 13:30～18:00	長期休み・土曜日等 9:00～17:00	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	日々の生活から身辺自立（荷物の準備・手洗い・お片付け・排泄・着替え・食事・身だしなみなど）が確立できるよう支援を行います。			
	運動・感覚	感覚統合・粗大運動・微細運動などを通して、発達の基礎作りを行い、様々な成長に繋げていきます。			
	認知・行動	基本的な概念の形成（色・形・数・音・時間など）が確立できるよう導き、認知機能（注意・記憶・言語理解・知覚・推論・判断など）の発達に繋げていきます。			
	言語 コミュニケーション	お子様一人ひとりに合ったコミュニケーションツールを確立し、気持ちの伝え方や、相手の気持ちを汲み取ることができるように支援を行います。			
	人間関係 社会性	社会生活（人との関わり）を送る中で必要なスキル（ルールの理解・人と協力するということ・感情のコントロールなど）を獲得し、人と関わる喜びや楽しみが実感できるように支援を行います。			
家族支援		ご家族の困りごとや悩みごとに対して事業所内、またはご自宅へ訪問させていただきます相談援助を行います。	移行支援	ご本人の成長に合わせ、就労準備型の放課後等デイサービスや就労事業所への移行を見据え、体験や見学ができる機会を設けます。	
地域支援・地域連携		学校や他事業所と連携し、ご本人に関わる大人や関係機関が共通理解の元、支援を行うことができますようにします。	職員の質の向上	研修の実施（支援向上、虐待防止・身体拘束適正化、感染症対策など）、人事評価制度の導入	
主な行事等		季節の行事（初詣、お花見、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会など）、事業所間の交流、お買い物実習、調理実習、おでかけなど			